



目 次

「医学図書館はいま」
燈火春秋⑩
情報検索コーナーの紹介
朗報/貸出冊数が増えました
図書館の利用について
購入希望図書の購入について
投書箱「図書館の窓」へのお答え
平成7年度中小コレクションの紹介
図書館カレンダー

「医学図書館はいま」

中山 英 明

マルチメディアに代表される情報化の嵐の中で変革を迫られているのは図書館ばかりではないが、なかでも医学図書館はその煽りを真っ向から受けていると言っても過言ではない。本来、図書館は文字を媒体とする本の提供で利用者のニーズに応じてきたが、そのニーズは千差万別で結果的には蔵書数がその図書館のステイタスを決める要因になっていた。

そして、いまだに文部省視学委員の視察コースには図書館が不可欠であることは変わらない。ところが、コンピュータの発達は止どまるところを知らず、文字・画像・音声までも瞬時に処理する機能が普及した。そうでなくても、テレビの普及と漫画の洪水で、活字離れの傾向が強い青少年・主婦層に「本」の有難さを忘却させる世紀末を迎えつつある。

医学部の場合、別の問題が生じつつある。それは電子文字情報への依存度で、教科書に頼る学生の勉強には左程の影響はないと言えるが、それでも国家試験情報などはCD-ROMなどで提供されることも少なくない。大学院生、臨床研修医など卒後の研究の段階に入ると、まずは文献検索から始まる。この作

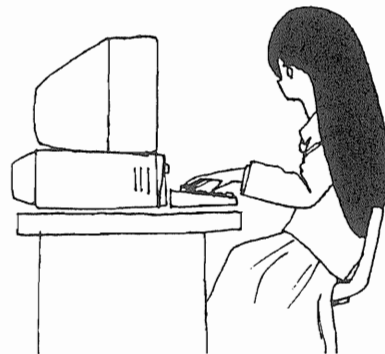
業の上手下手は以後の研究のペースに直接影響して来る。この場面で、最近のコンピュータの機能が威力を発揮する。従来は、様々な形で文献情報が提供された。先ずは関連領域のジャーナルからトピックスを選び収載された論文を読破し、さらに引用文献に目を通す。その他にも最近話題になった論文の有無の検索を各種の医学雑誌のインデックスを通じて探し出す。かつてはお目当ての論文を探すために、掲載誌を求めて図書館の穴蔵にもぐり、バックナンバーを探すのが一苦勞であった。20編もしくはそれ以上の参考文献を集めて、漸く論文の執筆が可能になる。ところがどうであろう。最近はカレントコンテンツだとかインデックス・メディクスなど気にすることもなく、コンピュータ画面に向かってメドラインを開けば、お目当ての論文の大方は要約つきで入手できる。医学の分野では、論文の検索だけが情報ではない。患者を診療する際、臨床検査で総括される各種の検査データの解析やら画像診断の処理に大容量のコンピュータが必要となる。現に鳥取大学医学部附属病院では診療各科のそれぞれの部屋にコ

ンピュータの端末が配置されており、院内医療事務間でコンピュータで処理される。最近持ち上がった重大問題は、これだけのコンピュータのすべてが鳥取大学情報処理センターにぶら下がることのできるかである。現状は64kbpsの専用電話回線で繋がっているだけであり、到底みんなの要求を受け入れることは望めそうもない。多少の救いは現在国立大学の附属病院はユ-ミン(University Medical Information Network)と呼ばれるネットワークが存在することで、これとて米子-鳥取間は情報処理センターとは別の電話回線で結ばれ、鳥取で学術情報センターのネットに入ることになるため、利用者が多くなれば窮屈になることは目に見えている。それもこれもコンピュータの発達が電気計算機時代の機能を考えれば今昔の感に耐えないが、マルチメディアの基盤になっていることから、利用者は平均値を求め、標準偏差を計算する手順はすっかり忘れても、統計ソフトさえ手元にあれば事足りる時代に馴れ切っている。同様に文献検索でも図書館に足を運んでバックナンバーを自ら探そうという奇人な人は少なくなって、居ながらキーボードを叩くだけで所期の目的を達しようとする人が増えてきたことは否めない事実である。この傾向が医学部に極めて強い、他学部と歴然と異なる所で、医学図書館が先駆けて変革を迫られているという根拠でもある。情報の処理・加工・伝達といった作業が一台の端末機で処理可能になったことが何より素晴らしいことである。

ところが、わが国ではやや次元を異にした問題が起こりつつある。それは増えに増えた学会が、それぞれに学会機関誌を持ち、それぞれが和文誌と英文誌を発行しようとしていることで、おまけに従来B5タイプの雑誌を流行りのA4版への、移行を考えていることで、無理に無理を重ねている様が住専の結末を見るようで納得ができない。本来、学会誌は学会活動の活性度の指標でもあるが、現在ややもすれば一部の研究者の恣意的な欲望のはけ口に利用され大多数の学会員に読まれない雑誌を濫造している嫌いがある。心すべきではあるが、さらに近頃のはやりに乗ってA4版化することは地球上の資源の乱費であり、化石燃料の無駄使い同様抑制をかけるこ

とが必要ではないかと愚考する。景気の刺激も重要であるが、グローバルな視点にたつて現在最も重視すべきは資源保護とくに紙、電力、ガソリンの需要の抑制こそが21世紀を迎える心構えではなかろうか改めて、全地球的な省エネルギーを提唱したい。

(医学部教授 衛生学)



月に叢雲花に風

—永井荷風「断腸亭日乗」—

伊藤 惠

1

他人の日記を盗み見るのは快感である。が、筆者には、未だにそのような快感に浸るような機会が訪れない。残念である。

小説家の日記も快感である。

が、売文を業とする者の日記である以上、いくらか差っ引いて読まねばならぬ。そこに書かれてあることが、その人のありのままの姿と思うのも間違いである。

如何なる生活の記録にも、必ず誇張や省略など、脚色を加えられており、場合によっては自己を正当化する記述となるのは至極当然である。日記の主を責むるべからず。

2

告白の真実は読者を愉しませるが、真実の告白は人をして感情を吐逆させるものである。筆者は、日記も又戯作の一領域であることを、荷風翁の「断腸亭日乗」によって教えられた。

3

「断腸亭日乗」は必ずしも翁の生活を描いてはいない。しかし、確実に時代の一風景を表わしている。

大正年間の記述には、一部の人々のせわしない動きに眉を寄せながら、どこかのんびりとした荷風の心情が彷彿としている。

昭和17～20年の記述には、灰色の重苦しい軍国の空気が漂っている。その空気に鉈を振り下ろすような怒気。荷風の怒りがふつつつとたぎっている。

4

日記は、元来ほとんど読み返されず捨て置かれる。が、読み返してみれば、巧まらずして記録になっているのが、当人にとっても面白い。ただ、その時感じていることだけを書けば良いのであるから、これ程

楽に書ける文章はないであろう。表現や表記にほとんど苦しむこともない。が、数日前の出来事にして、既にして曖昧なのが日記というものである。

そして、その曖昧さが真実を作るのである。それで良い。

5

永井荷風の42年間の日記。そのこと自体は驚くに値しない。驚くべきは文章で生きることの執念なのである。

文章は喜怒哀楽が書かせる。むろん、雑誌編集者の矢のような催促が書かせもするが、何よりも喜怒哀楽の力が大きい。中でも怒と哀の力が優れた記述を産んだ。生活のメモや述懐、風聞の記述が記録となって残された。

殊に戦時中のものは、若き日から培われてきた個人主義者の、本能的とも言える健全さを失うまいとする健全さが、冷静な視線が、世間（政治+民情）に鋭く注がれていることを、読者は知るであろう。

6

永井荷風の貫いた理念は、独り荷風だけのものではなかったにしても、その時代に多くの人が、或いは自らすすんで手離れたものであった。

緊迫した社会情勢が、それまでの高等遊民的蕩児の目を覚まさせたと見ることも出来よう。いずれにせよ、「断腸亭日乗」は荷風を生かした時代の、告白録とも読める得がたい資料となった。

永井壮吉著

荷風全集（第19～22巻「断腸亭日乗」）

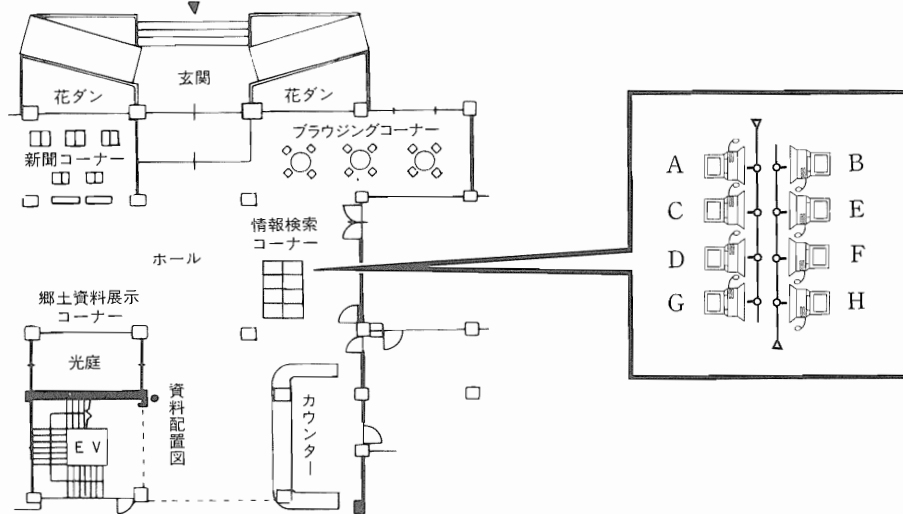
中央公論社昭和26～27年発行

(資料サービス係長)

情報検索コーナーの紹介

図書館の正面玄関を入ると衝立で囲まれた一角がすぐに目につきます。ここが情報検索コーナーです。ここにはワークステーションやパソコンが合計8台

置いてあります。これらの機器を使ってどんな情報を探しだすことができるか、ご存じですか。



AとB

富士通のパソコンです。この2台を使って、鳥取大学教育学部・医学部・工学部・農学部のシラバス(授業計画)を見ることができます。

CとD

OPAC (Onlin Public Access Catalog=オンライン閲覧目録) のための日立のワークステーションです。平成2年度以降鳥取大学で受け入れた図書・雑誌の所蔵リストを見ることができます。図書館の開架閲覧室に並んでいる資料は、平成元年度以前受入れたものもこの端末で見ることができますが、約15%はデータ未入力です。

* この約15%を探すには、一般閲覧室のカード目録を利用して下さい。平成元年度以前の研究室所蔵分については、カウンターの図書館員にお尋ね下さい。

EとF

Macintosh です。これを利用すれば、医学・生命系の最大手のデータベースとして定評のある MEDLINE (1966-現在) と教育系のデータベースの ERIC (1966-現在) を利用出来ます。

米子の医学部図書館のサーバ機により LAN を介して提供されているもので、ユーザ ID・パスワードの登録を済ませば研究室に居ながらにして24時間利用出来ます。図書館で利用される方は申込書に記入し

て下さい。マウスをお貸し致します。

G

スタンドアローンとして CD-ROM を利用するための NEC パソコンです。申込書を記入すれば、雑誌記事索引 (1985-現在)、国立国会図書館蔵書目録明治期、J-BISC (国立国会図書館蔵書目録1969-現在)、HIASK1992, 1993(朝日新聞記事データベース)、戦後50年朝日新聞見出しデータベース、電子広辞苑などが利用出来ます。

H

平成7年度末に設置されたばかりの富士通のパソコンです。図書館内に置いたサーバ機から、LAN を利用して鳥取地区はもちろんのこと、米子地区にも情報提供しようというシステムの利用者用端末です。使用マニュアル作成中のため利用開始にはまだ至っていませんが、提供データベース名・研究室からアクセスするための登録申請の方法などは、作成終了時に速報版にてご案内致します。

「ユーザフレンドリーな CD-ROM」といわれていますが、基本の操作を習得しておく必要があります。更にそれぞれのデータベースの特性を把握しておけば、より有効な検索結果を得ることが出来ます。

図書館では CD-ROM の利用講習会を開催しています。多数の方の参加をお待ちしています。

(学術情報係)

朗報！ 貸出冊数が増えました

貸出冊数を増やすことについて、利用者のみなさんから要望が出されていましたが、この度図書館利用細則が改正になり、平成8年度から貸出条件が次のように変わりましたのでお知らせします。

「鳥取大学附属図書館利用細則」抜粋

(館外貸出期間及び冊数)

第6条 図書資料の貸出期間及び貸出冊数は、次のとおりとする。ただし、貸出期間内であっても必要に応じてこれを返却させることができる。

- | | | |
|-------------|------|-------|
| (1) 本学職員 | 30日間 | 15冊まで |
| (2) 本学大学院学生 | 14日間 | 10冊まで |
| (3) 本学学部学生 | 14日間 | 5冊まで |
| (4) 学外者 | 7日間 | 2冊まで |

2 雑誌については、学内者に限り3日間とする。ただし、最新号の貸出しは、行わない。

3 第1項目の規定にかかわらず、夏季休業日及び冬季休業日に限り、長期の貸出しを行うことができる。ただし、本学職員及び学外者は対象外とする。

(注)

1. 本学名誉教授は、本学職員に準じた取り扱いとなります。

貸出期間30日間 貸出冊数15冊まで

2. 本学研究生・聴講生等は、本学学生に準じた取り扱いとなります。

貸出期間14日間 貸出冊数5冊まで

3. 新入学の本学大学院学生及び学部学生以外の利用者は、1階カウンターで利用の手続きを行って下さい。

(資料サービス係)



図書館の利用について

1. 新入生のみなさんへ

入学おめでとうございます。

みなさんが爽り大きな大学生活を送られるために、積極的に図書館を利用することをお勧めします。

ここに図書館の利用について主なことをご案内しますが、詳しくは「図書館利用案内1996」をご覧ください。

(1) 開館時間

平日	9時～20時 春季, 夏季, 冬季休業日は, 9時～17時
土曜日	10時～16時30分 春季, 夏季, 冬季休業日は, 閉館
日曜日 及び休日	10時～16時30分 定期試験期間のみ開館

(2) 休館日

日曜日（定期試験期間は除く）

国民の祝日に関する法律に規定する休日（定期試験期間は除く）

本学の記念日（6月1日）

年末年始（12月28日～翌年1月4日）

春季, 夏季, 冬季休業日の土曜日

その他, 臨時に休館するときは掲示等でお知らせします。

(3) 入退館

原則として荷物の持込みは自由ですが、一般常識として図書館ではいけないこと（飲食・大声での雑談など）について、お互いに気を付けましょう。

又、図書等資料を汚損・紛失すると弁償してもらわなければなりませんので、そのようなことのないよう大切に扱って下さい。

(4) 図書館利用者カード

① 交付

手続は不要です。学生証に図書館利用者 IDNo. が併記されています。学生証の受取が同時に図書館利用者カードの受取となります。

② 注意すべきこと

図書館利用者カードを又貸ししないで下さい。

このカードのことで時々トラブルが発生しています。

借りている図書を紛失した場合、電算機の貸出記録に記憶された利用者カードの持主が責任を負わねばなりません。

これは、人に利用者カードを貸したり、人から借りたりした結果のトラブルがほとんどです。友人に迷惑を掛けないよう、お互いに気を付けましょう。

そのような事故防止のためにも、利用者カード（学生証）をきちんと管理して下さい。もしも紛失した場合は、速やかに図書館カウンター（学生証については学部の学生係）まで届け出て下さい。

(5) 貸出・返却

貸出：学部学生の貸出冊数は5冊まで、大学院生は10冊まで。貸出期間はどちらも14日間です。

返却：期限内にカウンターまで持参するか、閉館後ならば図書館玄関脇のブックポストに返却して下さい。

(6) 閲覧

開架閲覧室にある図書・雑誌は、自由に手に取って見ることが出来ます。（一部、郷土資料・AV資料等は資料室等で保管していますので利用許可が必要です）

図書館内で利用した図書・雑誌等資料は元の場所に戻して下さい。

2. 教職員・研究生等のみなさんへ

(新入学の学部学生・大学院生以外の利用者)

(1) 図書館利用者カード

図書館1階のカウンターで交付について申し出て下さい。利用者カード交付申請書に所定の事項を記入し、提出していただければ利用者カードを発行します。

交付取り扱いの時間は平日の9時～正午、13時～17時です。この時間帯以外は取扱いませんので気を付けて下さい。

(2) 貸出・返却

貸出：①教職員・名誉教授の図書貸出冊数は15冊まで、期間は30日間です。

②研究生・聴講生等は学生に準じた取り扱いとなります。図書貸出冊数は5冊まで、期間は14日間です。

返却：学生と同様です。

3. レファレンス

この他、貸出・コピー（文献複写）・資料の配置等、図書館の利用について、質問がありましたら、気軽に1階カウンターでお尋ね下さい。

4. ご意見・図書等の購入希望

2階ホールに投書箱「図書館の窓」と「購入希望図書記入用紙」を設けていますので、ご意見やご要望をどしどしお寄せ下さい。

インターネットでご覧下さい

鳥取大学附属図書館ホームページ



鳥取市湖山町南4丁目101

鳥取大学附属図書館へようこそ

- [図書館概要](#)
- [図書館利用案内](#)
- [図書館からのお知らせ「図書館ニュース」\(速報版\)](#)
- [鳥取大学研究報告目次データ](#)
- [図書館報](#)
- [医学部分館ホームページへ](#)
- [ENGLISH LIBRARY GUIDE](#)

アドレスは次のとおりです。
<http://www.lib.tottori-u.ac.jp>

購入希望図書の購入について

(平成7年9月～平成8年1月希望分)

購入希望を記入していただいたみなさん、ありがとうございました。

ここに購入出来ましたものを紹介致します。折角記入していただいても、既に所蔵しているもの、品切・絶版等により購入出来なかったものもありますが、悪しからずご了承下さい。

(書名のABC順)

著者(编者)	書名	発行所	備考
角居洋司	アンテナ工作ハンドブック Part.1,2	CQ出版社	
熊沢源右衛門	新しい海洋科学	成山堂書店	
トーマス=ベリイマン	だれがわたしたちをわかってくれるの	偕成社	
バーガー, オルソン	電磁気学 I, II	培風館	
尾崎 晃ほか	概説海岸工学	森北出版	
本多勝一	本田勝一集	朝日新聞社	品切の巻あり
COCOS NET	いまから始めるパケット通信	CQ出版社	
中原一郎	実践 材料力学	養賢堂	
板垣 博ほか	家畜寄生虫病学	朝倉書店	
吉田宏一郎監修	海洋工学の基礎知識	成山堂書店	
M・E・アレン	菌根の生態学	共立出版	
W・マクガイア	マトリックス構造解析	丸善	
大江健三郎	燃え上がる緑の木 第1～3部	新潮社	
スーザン・バーナード編	もうひとりのマリリン・モンロー	同朋社出版	
秦 正人	パケット通信ハンドブック	CQ出版社	
星宮 望	生体工学	昭星堂	
ヨースタイン・ゴルデル	ソフィーの世界	NHK出版	
ノーマ・フィールド	天皇の逝く国で	みすず書房	
CQ ham radio	TNC徹底ガイド	CQ出版社	
トーマス=ベリイマン	指で見る	偕成社	
中原一郎	材料力学 上	養賢堂	

(記入についてのお願い)

図書館では、利用者からの声には出来る限り応えようとしていますが、次の点を留意して購入希望図書の記入をお願いします。

1. 図書館に備え付けるべき内容で、多くの人が利用出来ると考えられること。
2. 廉価な図書や個人的興味本意のものは自分で購入して下さい。
3. 予めOPACで検索して重複していないことを確認の上、記入して下さい。

《平成7年度中小コレクションの紹介》

平成7年度は、各部局から購入希望のあった次のものを購入しました。

すでに整理を終え、【 】内の場所に配架していますので、是非ご利用ください。

1. 教育研究学内特別経費購入分

① 新日本古典文学大系 (全100冊のうち既刊63冊) 佐竹昭広他編 岩波書店刊	【2階第3閲覧室 918: Shi】
② 駁異・平学弁 飯田年平自筆草稿 筑波書店刊	【2階第4閲覧室 121.52: Bak】
③ Selected Scientific & Technical Report (英文論文撰集) テクノフォーラム刊	
1) 国際化社会における異文化間コミュニケーションとその訓練・教育研究	【2階第2閲覧室 361: Kok】
2) 社会文化的価値に関する異文化間比較研究	【2階第2閲覧室 361.5: Sha】
3) 異文化間教育カリキュラム	【2階第2閲覧室 375: Ibu】
4) 異文化間コミュニケーションにともなう言語, 文化, 言語-文化関係	【2階第2閲覧室 389: Ibu】
5) 言語行動に関する異文化比較II	【2階第3閲覧室 801: Gen】
④ 教育刷新委員会・教育刷新審議会会議録 (全13巻のうち既刊2冊) 日本近代教育史料研究会編 岩波書店刊	【2階第2閲覧室 372.1: Kyo】
⑤ 現代病理学大系 全23巻 中山書店刊	【医学部分館】
⑥ 組織科学 第1-21巻 (雑誌) 丸善刊	【1階雑誌書庫】
⑦ Comprehensive Organometallic Chemistry. II. 14 Volume Set. Pergamon 刊	【開架書庫3層洋書コーナー 437.8: Com】
⑧ ジェムコ・ビデオ・ライブラリー ジェムコ出版刊	【1階ビデオコーナー】
1) 電話 2) コンピューターの変遷 3) 磁気回路 4) 電磁誘導 5) 現代電子工学 6) 情報 通信技術のあゆみ1-2 7) 21世紀への画像工学 8) 新素材V: 半導体材料編1-3 9) 複 素数 10) 二次微分方程式 11) 行列の応用 12) ベクトル積 13) 微分方程式数値解法 14) 固 有値と固有ベクトル 15) 連立微分方程式 16) 偏微分 17) フーリエ解析 18) 偏微分方程式	
⑨ コンピュータ・ネットワーク関連ビデオテープ オリックス・レンテック刊	【1階ビデオコーナー】
1) コンピュータ・ネットワーク入門	
2) インターネット	



2. 図書館設備費購入分

① 日本列島2万5千分の1 地図集成 全5巻 科学書院刊	【1階地図コーナー 291.038 : Nih】
② Comprehensive Organic Functional Group Transformations, 7 Volume Set. Pergamon 刊	【開架書庫3層洋書コーナー 437.01 : Com】
③ SAFETY に関するもの Aldrich 等刊	
1) CRC Handbook of Laboratory Safety.	【開架書庫3層洋書コーナー 432.1 : Crc】
2) Destruction of Hazardous Chemicals in the Lab.	【開架書庫3層洋書コーナー 432.1 : Des】
3) Handbook on Toxicity of Inorganic Compounds.	【1階参考図書コーナー 491.59 : Han】
4) Hazardous Laboratory Chemicals : Disposal Guide.	【開架書庫3層洋書コーナー 432.1 : Haz】
5) The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data.	【1階参考図書コーナー 430.3 : Sig】
6) The Sigma-Aldrich Library of Regulatory & Safety Data.	【1階参考図書コーナー 430.3 : Sig】

《平成7年度大型コレクションの紹介》

ランドルトーベルンシュタイン科学・技術数値データ集 新版 第3集を購入しました
[1階参考図書コーナー 403.8 : Lan]

平成7年度の文部省自然科学系特別図書購入費（大型コレクション）で Landolt-Boernstein Numerical Data and Functional Relationships in Science and Technology. New Series. Group IIIを購入しました。この資料は、精密な数値データ集として国際的な評価を得ている世界的に有名な定数表で、特に第3集は、無機化合物でできた凝縮系（固体ないし液体等）における構造と物性に関する最新の詳細な数値データ及び書誌情報を満載しています。



投書箱「図書館の窓」へのお答え

(平成7年10月～3月末日投書分)

ご意見、ご要望を有難うございました。ここに回答致します。規則上の制約などから、現時点では要望に応えきれない面もありますが、今後の利用者サービスの参考にさせていただきますのでご諒解下さい。

なお、投書は備え付けの用紙に記入して下さい。

1. 図書館資料について

①本が古く、数が少ない。新しい本をもっとたくさん入れ、蔵書数も今の2、3倍は必要。

②外国の文献や学会の論文が少ない。

③常に100万冊、200万冊の蔵書があり、調べたい時に図書館へ行けば解決出来るような、懐の大きい図書館であって欲しい。(無記名(院生))

①③ 鳥取地区では、年間約1万冊の図書を受け入れています。

所蔵資料及び利用者サービスの充実につきましては、図書館の存在理由にも関わる重要な問題であり、図書館として日夜努力をしています。

図書購入冊数につきましては、購入予算が限られており大幅に増やせない状況にあります。

又、蔵書冊数の増加に伴い書架スペースが狭隘となり閲覧室を圧迫してきていますが、今後の様々なメディアへの対応・利用者サービスの充実に向けて、現在図書館の施設・設備の見直しを行っているところです。ご理解下さい。

平成8年度からは「新着図書コーナー」を設けましたので、ご利用下さい。

② 確かにご指摘のとおり多くはありませんが、その分他の大学図書館と連携して利用者の方のお役に立てるよう努力しています。

なお、雑誌等図書館資料を充実させるため、購入予算獲得に鋭意努力しています。

④日経M A Cの入荷が遅い。

⑤東洋経済、エコノミスト、日経ビジネスなどの経済系の雑誌は入れないのか。日経エレクトロニクスもなぜ入れないのか。

(農学部農林総合科学科学生)

④ 今後注意します。現在は順調に入荷していますので、ご利用下さい。

⑤ 東洋経済は農学部の研究室で、日経エレクトロニクスは工学部社会開発システム工学科で購入しています。

予算が潤沢にある訳ではありませんので、図書も雑誌も極力重複をしないように購入しています。学部からの要望、利用者からの要望などを考慮して購入していますが、やむを得ず購入出来なかったものもあります。図書館では、図書館として必要な資料も購入しなければなりません。諸事情をご理解下さい。

⑥本多勝一の本を是非入れて欲しい。

(農学部 院生)

⑥ 購入しました。ただし、本多勝一集(朝日新聞社刊)の内、入手出来るもののみ。

今後、購入希望は「購入希望図書記入用紙」に記入して下さい。

2. 貸出・返却について

①1回に借りられる冊数を増やして欲しい。

(工学部電気電子工学科学生)

① 貸出条件等について検討した結果、利用細則を改正し、平成8年度から学部学生は5冊まで借りられるようになりました。貸出期間は従前通りです。

平成8年度図書館カレンダー（その1）

曜日	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
日	春季休業日 ～4/8				7/11～8/31 夏季休業日	1 ●
月	1			1		2
火	2			2		3
水	3	1		3		4
木	4	2		4	1	5
金	5	3 ●憲法記念日		5	2	6
土	6 ●	4 ●休日	1 ●鳥取大学 記念日	6	3 ●	7
日	7 ●	5 ●こどもの日	2 ●	7 ●	4 ●	8 ●
月	8	6 ●振替休日	3	8	5	9
火	9 ●入学式	7	4	9	6	10
水	10 前期開講	8	5	10	7	11
木	11	9	6	11 夏季休業日 ～8/31	8	12
金	12	10	7	12	9	13
土	13	11	8	13 ●	10 ●	14
日	14 ●	12 ●	9 ●	14 ●	11 ●	15 ●敬老の日
月	15	13	10	15	12 ●	16 ●振替休日
火	16	14	11	16	13 ●	17 前期定期 試験開始
水	17	15	12	17	14 ●	18
木	18	16	13	18	15 ●	19
金	19	17	14	19	16 ●	20
土	20	18	15	20 ●海の日	17 ●	21
日	21 ●	19 ●	16 ●	21 ●	18 ●	22 休日開館
月	22	20	17	22	19	23 休日開館 秋分の日
火	23	21	18	23	20	24
水	24	22	19	24	21	25
木	25	23	20	25	22	26
金	26	24	21	26	23	27
土	27	25	22	27 ●	24 ●	28
日	28 ●	26 ●	23 ●	28 ●	25 ●	29 休日開館
月	29 ●みどりの日	27	24	29	26	30
火	30 図書整理日	28	25	30	27	
水		29	26	31 図書整理日	28	
木		30	27		29	
金		31 図書整理日	28 図書整理日		30 図書整理日	
土			29		31 ●	
日			30 ●			

(開館時間)

□ 9:00～20:00

□ 10:00～16:30

■ 9:00～17:00

■ 図書整理日
(一般閲覧室・新聞
閲覧室・ブラウジング
コーナーのみ開室)

● 休館日

※開館日程が変更になる場合は、事前にお知らせしますので、掲示にご注意下さい。

鳥取大学附属図書館報 第87号 (1996年5月発行)

編集・発行：鳥取大学附属図書館 〒680 鳥取市湖山町南4丁目101 ☎0857-31-6728